

平成25事業年度

決 算 報 告 書

自：平成25年4月 1日

至：平成26年3月31日

国立大学法人鹿児島大学

平成25年度 決算報告書

国立大学法人鹿児島大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	15,519	15,961	443	(注1)
施設整備費補助金	3,746	1,970	▲ 1,775	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	1,206	2,308	1,102	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	72	72	—	
自己収入	24,133	25,921	1,788	
授業料、入学金及び検定料収入	5,907	5,900	▲ 7	(注4)
附属病院収入	17,384	18,943	1,558	(注5)
財産処分収入	75	76	1	(注6)
雑収入	767	1,002	236	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,071	2,498	427	(注8)
引当金取崩	—	11	11	(注9)
長期借入金収入	2,161	2,161	—	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	425	425	(注10)
計	48,909	51,328	2,419	
支出				
業務費	38,092	39,421	1,328	
教育研究経費	21,211	20,070	▲ 1,142	(注11)
診療経費	16,881	19,351	2,470	(注12)
施設整備費	5,979	4,204	▲ 1,775	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	1,206	2,308	1,102	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,072	2,119	47	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	1,525	1,482	▲ 43	(注16)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	35	35	0	
計	48,909	49,567	659	
収入－支出	—	1,761	1,761	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階で予定していなかった前年度からの繰越金(335百万円)、復興関連事業費(1百万円)及び復興関連事業費の追加措置(106百万円)により、予算額に比して決算が443百万円多額となっております。

(注2) 施設整備費補助金については、産業動物飼育施設新営、学生支援センター改修、総合研究棟改修(電機電子工学系)等の工期延長による繰越し等により、予算額に比して決算額が1,775百万円少額となっております。

(注3) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった前年度からの繰越金等により、予算額に比して決算額が1,102百万円多額となっております。

(注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料及び入学金の減収、検定料の増収により、予算額に比して決算額が7百万円少額となっております。

(注5) 附属病院収入については、新入院患者数の増による病床稼働率の向上、入院・外来診療単価の上昇、手術件数の増加等により、予算額に比して決算額が1,558百万円多額となっております。

(注6) 財産処分収入については、土地の売却額が予定より高額となったこと等により、予算額に比して決算額が1百万円多額となっております。

(注7) 雑収入については、自己収入の獲得に努め、財産貸付料収入等の増収したことにより、予算額に比して決算額が236百万円多額となっております。

(注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等及び寄附金の受入が増えたため、予算額に比して決算額が427百万円多額となっております。

(注9) 引当金取崩については、予算段階では計上していなかった退職引当金の取崩しにより、予算額に比して決算額が11百万円多額となっております。

(注10) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していなかった医療機器等の整備のため、予算額に比して決算額が425百万円多額となっております。

(注11) 教育研究経費については、業務達成基準を適用した事業の繰越し等により、予算額に比して決算額が1,142百万円少額となっております。

(注12) 診療経費については、(注5)に示した理由による見合の医療費等の増及び診療に必要な医療機器整備費の増等により、予算額に比して決算額が2,470百万円多額となっております。

(注13) 施設整備費については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,775百万円少額となっております。

(注14) 補助金等については、(注3)に示した理由により受入額が増額したため、予算額に比して決算額が1,102百万円多額となっております。

(注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注8)に示した理由により受入額が増加したこと等により、予算額に比して決算額が47百万円多額となっております。

(注16) 長期借入金償還金については、借入利率の見直し等により、予算額に比して決算額が43百万円少額となっております。